

# ライフジャケットの着用義務範囲の拡大に向けての 着用推進策

平成28年5月23日  
水産庁漁政部企画課

# ○漁業カイゼン講習会等による周知活動

「安全な漁業労働環境確保事業(補助事業)」により実施している漁業カイゼン講習会等において、関係省庁やライフジャケットメーカー等と連携し、着用率向上のための講習内容を充実

## (1) 漁業労働環境カイゼン対策会議(9月開催)

全国会議(東京開催)を開催し、都道府県漁業協同組合連合会等の安全担当者を対象として、海難の未然防止等知識の普及を担う「安全推進指導員」を養成するための研修を実施

## (2) 漁業カイゼン講習会(周年開催)

全国で「漁業カイゼン講習会」を開催し、漁業者を対象として、漁船の労働環境の改善や海難の未然防止等について知識を有する「安全推進員」を養成するための研修を実施

**着用率向上のため新たに講習内容を充実**

**国土交通省、海上保安庁、ライフジャケットメーカー、漁業関係団体と連携**

### 漁業カイゼン講習会のご案内

水産庁補助事業「安全な漁業労働環境確保事業」

～安全な労働環境の形成と労働災害の減少を目指して～

- 漁業カイゼン講習会の目的  
➡ 「安全推進員」を養成します  
この事業は、漁業の労働環境のカイゼンや海難の未然防止などの知識を持った「安全推進員」を養成します。「安全推進員」の活躍で、各地域の漁船の労働環境改善などが推進され、海難事故の減少を目指します。
  - 漁業カイゼン講習会の特長  
➡ 無料、わかりやすい、短時間などなど
- |             |                              |
|-------------|------------------------------|
| 特徴1: 無料     | 資料費、講師の経費はかかりません             |
| 特徴2: わかりやすい | 問題点を見つけ出し、みんなで理解できる          |
| 特徴3: 短時間でOK | 約1時間から可能です                   |
| 特徴4: 効果的・好評 | 約8割の受講生が高い評価                 |
| 特徴5: 地域に貢献  | 受講後は安全推進員として、漁船の事故の防止等に貢献できる |

- 漁業カイゼン講習会の内容例①  
➡ 豊富な事例で実践的に
1. 安全推進員の考え方、活動内容の説明
  2. チェックリストを説明
  3. 良い改善事例の選定
  4. 船内の点検(可能な場合)
  5. 情報交換
  6. 修了証の授与

### 【以下の講習内容を充実】

- ・ 小型船舶の海難発生状況等について紹介
- ・ ライフジャケットの着用義務範囲の拡大についての制度改正ポイント等について紹介
- ・ ライフジャケットの種類や特性(機能等)の紹介
- ・ ライフジャケットの着用普及ビデオの上映
- ・ ライフジャケットの着用普及アンケートの実施
- ・ 全国漁協の着用推進取組優良事例の紹介等

### ■ 漁業カイゼン講習会の内容例 ②



### ■ 講習後の主なご意見(アンケートから)

- ➡ 好評いただいています
- 「具体的な形で話をされたのでわかりやすかった」
- 「地区ごとに、船が違うので地区ごとに必要かと思う」
- 「野球の例を取り上げてわかりやすい」
- 「事故を無くすことに努めます」
- 「危険な行動を再確認できました」
- 「自覚の問題、意識の向上をもつ」
- 「すぐにできることばかりで実践します」
- 「自覚して実践しようと思った」
- 「大切な役目を考え頑張ります。」

### ■ 漁業カイゼン講習会の目標

本事業は5年間で2500人の安全推進員を育成する計画です。安全推進員の活躍による漁業の安全向上を目指します。

申し込み、お問い合わせ先

一般社団法人 全国漁業就業確保育成センター  
東京都港区赤坂1丁目9番13号 三会堂ビルB1  
L 03-5545-1617 FAX 03-5545-1618  
magami@suisankai.or.jp 担当: 馬土(まがみ)

**ライフジャケット着用率向上を推進**

# 全国漁船安全操業推進月間における周知活動

毎年10月の「全国漁船安全操業推進月間」において、漁業関係団体や関係省庁が連携し、漁業関係者に対して、ライフジャケットの着用推進等事故防止キャンペーンを実施

10月は**全国漁船安全操業推進月間**です！

10月は**全国漁船安全操業推進月間**です！

海難による死者・行方不明者の約7割は漁船が占めています。漁船衝突事故の約8割

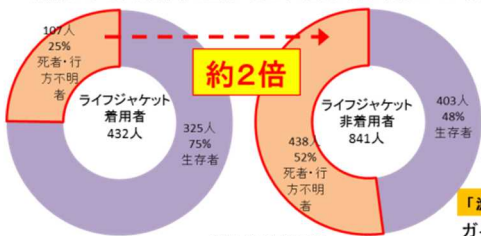
「カイゼン講習会」を活用して、「安全推進員」を養成しましょう！  
カイゼン講習会の詳細は、一般社団法人 全国漁業就業者確保育成センターホームページをご覧ください！

- ・月間ポスターにおいて、ライフジャケットの着用推進のための内容を更に充実
- ・月間ポスターの水産庁ホームページへの掲載
- ・ライフジャケットの着用状況調査等を実施



ライフジャケットの**非着用者の死亡率は着用者に比べて約2倍**高くなります。  
万が一海中転落の際、自分の命を守るため**ライフジャケットを必ず着用**しましょう！

【漁船からの海中転落者の生存/死亡率(過去5年間:平成22~26年)】



自分の体形や作業内容等により適した種類を選びましょう！



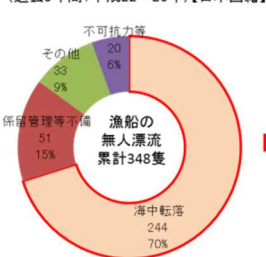
「漁業者のためのライフジャケット着用推進ガイドライン」を活用ください！

ガイドラインでは、ライフジャケット着用のポイントや自分にあったライフジャケットの選択に関する情報等が掲載されています。

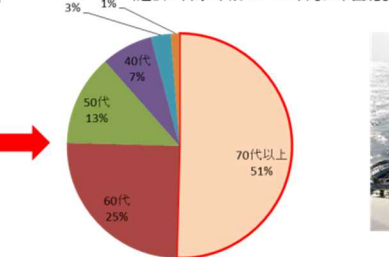
【漁船の安全操業に関する情報】 <http://www.jfa.maff.go.jp/j/koho/bunyabetsu/index.html#a-11> 水産庁

漁船の無人漂流のうち、**海中転落によるものが約7割**を占め、その半数を**70歳以上の高齢者**が占めています。高齢者の皆様は日頃の体調管理にも万全を尽くしましょう！

漁船の無人漂流原因別 (過去5年間:平成22~26年)【日本国籍】



漁船の海中転落による無人漂流年代別 (過去5年間:平成22~26年)【日本国籍】



携帯電話用サイト <http://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/index.html>

海上保安庁

運輸安全委員会のホームページを安全操業に活用しましょう！  
(過去の海難事例から事故防止策などを見ることができます。)

船舶事故ハザードマップモバイル版  
地図から探せる事故とリスクと安全情報

どこで、どんな事故が起こっているかひとめでわかります。

スマートフォンやタブレットで

漁ろう中の死傷等事故の防止に向けて  
[http://www.mlit.go.jp/jtsb/bunseki/kankoubutu/jtsbdigests/jtsbdigests\\_No16.html](http://www.mlit.go.jp/jtsb/bunseki/kankoubutu/jtsbdigests/jtsbdigests_No16.html)

「運輸安全委員会ダイジェスト」として、事故発生状況や事故事例から再発防止の教訓をまとめています。

再発防止の教訓  
救命胴衣の着用の徹底  
安全作業の徹底  
外部との連絡手段の確保

運輸安全委員会ダイジェスト

詳細は運輸安全委員会ホームページをご覧ください！

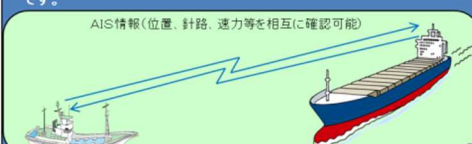
JTSB 運輸安全委員会  
Japan Transport Safety Board

運輸安全委員会は、年間約1,000件の船舶事故等を調査して報告書をホームページで公表しています。  
<http://www.mlit.go.jp/jtsb/index.html>

幹事団体：(一社)大日本水産会  
協賛：全国漁業協同組合連合会、全国共済水産業協同組合連合会、漁船保険中央会、(公財)漁船海難遺児育英会、(一財)中央漁業操業安全協会、(一社)全国漁業無線協会、NPO法人水産業・漁村活性化推進機構、(一社)全国漁業就業者確保育成センター  
後援：水産庁、国土交通省、海上保安庁、運輸安全委員会、海難審判所

海難事故防止のためAISの導入を！  
総務省、国土交通省、水産庁、海上保安庁

AISとは？  
AIS (Automatic Identification System: 船舶自動識別装置)とは、船舶の位置、針路、速力等の安全に関する情報を、自動的に送受信するシステムです。



AISは雨や波の影響を受けず、**荒天時でもお互いの位置、針路等を容易に確認できます！**  
簡易型AISは、比較的安価(10数万円程度)に購入でき、無線従事者の資格がなくても操作できます。(※ただし無線局の免許申請は必要です。)

AISを搭載する漁船に支援制度ができました！

漁船保険中央会において、AIS搭載漁船への優遇措置として、年間保険料の一部を助成します。

お問い合わせ先：水産庁漁業保険管理官 03-6744-2357  
漁船保険中央会 03-3591-3103  
<http://www.ghn.or.jp/>

漁船へのAISの設置に当たって、漁船資金等を借り入れる場合の金利を実質無利子とする利子助成(最大2%)を行っています。

お問い合わせ先：水産庁水産経営課 03-6744-2347

AISを搭載する漁船に支援制度ができました。  
詳細は水産庁ホームページをご覧ください！  
【漁船の安全操業に関する情報】 水産庁 <http://www.jfa.maff.go.jp/j/koho/bunyabetsu/index.html#a-11>

# ○周知文や関係会議における周知活動

新たに以下の周知文や関係会議における周知活動を実施

## ● 着用義務化の周知文を発出（平成28年7月実施予定）

「船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則」改正の公布後（平成28年7月予定）に、都道府県の水産部局や漁業関係団体等に対しライフジャケットの着用義務範囲拡大についての周知文を発出

## ● 全国漁業協同組合連合会担当者会議（平成28年9月開催予定：全漁連）

全漁連傘下の都道府県漁業協同組合連合会の担当者を参集する会議において、ライフジャケットの着用義務範囲の拡大についての制度改正ポイント等について説明するとともに、漁業関係者に対し着用推進に係る周知活動を依頼

## ● 都道府県水産主務課長会議（平成29年3月開催予定：水産庁）

都道府県の水産主務課長を参集する会議において、ライフジャケットの着用義務範囲の拡大についての制度改正ポイント等について説明するとともに、漁業関係者に対し着用推進に係る周知活動を依頼

## ● 漁業調整事務所長会議（平成29年3月開催予定：水産庁）

水産庁漁業調整事務所長を参集する会議において、ライフジャケットの着用義務範囲の拡大についての制度改正ポイント等について説明するとともに、漁業関係者に対し着用推進に係る周知活動を依頼

# ○漁業者のためのライフジャケット着用推進ガイドラインの改訂

- 平成29年7月予定のライフジャケットの着用義務範囲拡大に向け、漁業者の方々に常時ライフジャケットを着用していただくための着用ポイント等を取りまとめた「漁業者のためのライフジャケット着用推進ガイドライン」を改訂
- ガイドラインの改訂作業を行うにあたって、以下の研究会を設置

## 【ライフジャケット着用推進ガイドライン研究会】

### ○構成メンバー

関係業界団体、学識経験者、  
関係省庁（国土交通省、海上保安庁）、水産庁

### ○検討項目

ライフジャケットの着用義務範囲の拡大に向けた  
内容の改訂

### ○スケジュール

平成28年9月：第1回ライフジャケット着用推進  
ガイドライン研究会を開催し、改  
訂内容を検討

平成29年3月：第2回ライフジャケット着用推進  
ガイドライン研究会を開催し、改  
訂版ガイドラインを決定・公表

初 版：平成20年10月  
第2版：平成24年10月

漁業者のための  
ライフジャケット着用推進  
ガイドライン

平成24年10月  
第2版

水産庁  
社団法人 大日本水産会  
全国漁業協同組合連合会

# ○着用状況調査を踏まえた着やすいライフジャケットの追求（開発）

- 水産庁では、平成25年度から、「安全な漁業労働環境確保事業（補助事業）」により、ライフジャケット着用向上のための調査を、国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産工学研究所に委託して実施中。
- 調査結果は平成29年度に取りまとめを行い、調査結果に基づいて、様々な漁業現場等に応じた適切なライフジャケットの選定方法及び改善点について漁業関係団体等に提案するとともに、着やすいライフジャケットを追求（開発）

## 【目的】

漁業の安全性向上のためのライフジャケット着用における現状と課題等について分析し、適切なライフジャケット選定に資することを目的とする。

## 【内容】

漁業における船上作業等を調査し、「かさばる、ひっかかる等」ライフジャケット着用を阻害する作業面の要因を分析する。

## ライフジャケット選定に関する現地調査

板びき網漁業の揚網選別の様子



のり養殖業の支柱立て作業の様子



国立研究開発法人 水産総合研究センター  
水産工学研究所

## ○ライフジャケット着用推進のための広報活動

- **周知・啓発ポスター、パンフレットの配布（デザインは国土交通省で検討中）**

作成部数：ポスター約5千部、パンフレット約7万部

配布先：都道府県水産部局、都道府県漁連や各漁協、その他の漁船漁業団体等

- **水産庁HPの充実**

ライフジャケットの種類や機能の紹介、安全サイト（海上保安庁、国土交通省、全国漁業協同組合連合会等）へのリンクを掲載、ライフジャケット着用推進の取組優良事例について紹介

- **広報誌への掲載**

ライフジャケット着用推進策について広報誌等へ掲載

## ○その他の着用推進策

- **発信器付きライフジャケットの普及等を推進**

海中転落時にライフジャケットの位置が把握できる装置の普及等について、漁業関係者等の意見を取りまとめてメーカー側と検討

- **ライフジャケット着用推進取組優良事例の表彰制度の創設**

全国の各漁協で実践しているライフジャケット着用推進の取組優良事例について、表彰する制度を創設